

# 平塚協会報

発行所 公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部 発行責任者 高橋 千之



## 新年を迎えて

(公社)神奈川労務安全衛生協会  
平塚支部

支部長 長尾 亨

〈横浜ゴム平塚製造所〉



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、平素より当協会の運営、各種事業に対するご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

就任初年度の支部長には至らぬ点多々あったかと思いますが、平塚労働基準監督署をはじめ、関係官庁、諸団体のご支援、ご指導、会員事業場の皆様のご協力により、支部事業計画を推進することができました。誠にありがとうございます。

さて、日本経済を取巻く環境は、目まぐるしく変化していると昨年4月の支部長就任時にお話させていただきましたが、その波はより一層大きさを増していると感じるこのごろです。特に国際社会では、英国のEU離脱、米国のトランプ新政権と大半の予想を覆す出来事がありました。このような環境変化によりもたらされる雇用労働情勢の変化に対して、今後も労務安全衛生を優先した迅速且つ的確な対応が求められるものと思われま。

平塚労働基準監督署管内(10月末現在)の死亡災害は0件、休業災害は336件となっており、前年度とほぼ同件数の災害が発生しています。労働災害による死傷者数の減少に向け、作業上の安全配慮はもちろんのこと、昨今、社会問題として取上げられることの多い、過重労働、メンタルヘルス不調による健康問題についても皆様と一緒に考え、改善に向けた活動に取り組んでいきたいと考えております。

最後になりますが、会員事業場の益々のご発展と皆様方のより一層のご健勝とご活躍を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



# 新年のごあいさつ

平塚労働基準監督署

署長 湯川 和彦

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、(公社)神奈川労務安全衛生協会平塚支部の皆様には当署の労働基準行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年、当署では、平成26年の改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度の導入や化学物質に係るリスクアセスメントの実施等に関する事項の周知に努めるとともに、業種横断的に多発している転倒災害の減少を図るために「STOP! 転倒災害プロジェクト」に基づく種々の働きかけ等を行ってまいりましたが、今年も引続き取組みを行ってまいり所存です。

さて、大手広告代理店の労働者の自殺が長時間労働によるものとして業務上と認定されたことを受けて、所轄労働局による本社及び各支店等に対する臨検監督が実施され、一部では時間外労働の過少申告が明らかとなったことにより、所轄労働局が労働基準法違反の容疑で捜査に着手したことなどがマスコミでも大きく報道されたことはまだ皆様の記憶に新しいことと思います。今後は、労使とも真剣に長時間労働の是正を図っていかねばならない時代になっています。次年度の労働基準行政の重点施策の一つとして、長時間労働

の削減についてはさらに指導が強化されることが予想されます。

ところで、平成29年度は、第12次労働災害防止推進計画の最終年度となっています。ちなみに、平成28年10月末現在の神奈川労働局管内の労働災害発生状況は、死亡者数が17人(前年同期比7人減、29.2%減)、休業4日以上之死傷者数が4,809人(前年同期比135人増、2.9%増)となっており、死亡災害は着実に減少しているものの、休業4日以上労働災害は増加の傾向にあります。第12次労働災害防止推進計画の「平成24年の休業4日以上之死傷者数の15パーセント減」という数値目標の達成は非常に厳しい状況となっていますが、今年の干支にちなんで、鵜の目鷹の目で事業場に潜在している危険の芽を見つけ出し、危険の芽が顕在化する前に対策を講じていただくことにより、労働災害の未然防止に努めていただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員事業場のますますのご発展と今年1年を無事故、無災害で過ごせますよう心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成29年 年間標語

快適な職場に響く合言葉 「健康・安全・ゼロ災害」

## 安全衛生祈願、経営首脳者セミナー

平成29年1月6日(金)新春の澄みきった青空の下、秦野市平沢の出雲大社相模分祠において安全衛生祈願、経営首脳者セミナーが開催されました。

今年も来賓として神奈川労務安全衛生協会本部より渡辺専務理事、平塚労働基準監督署より湯川署長、青山安全衛生課長をお招きし長尾支部長、3副支部長並びに4部会長をはじめ各会員事業場より80名参集しました。拝殿内では宮司さんの祈願、巫女の舞後、玉串奉奠をおこない、全員で安全と健康を祈願しました。その後、出雲記念館に於いて経営首脳者安全衛生セミナーが開催されました。

関西ペイント伊藤副支部長、及び湯川署長の挨拶後、神奈川労働局労働基準部安全課 原田氏により行政講演「労働基準行政の現状と動向」と題し御講演をいただきました。

### ①過労死等防止対策白書

- ・過労死等の神奈川県内の状況
- ・過労死等の防止のための対策の実施状況
- ・過重労働による問題解消の方策

### ②ストレスチェック制度の創設

### ③職場のパワーハラスメント

続いて特別講演としてプロ野球審判技術委員・元プロ野

球バ・リーグ審判の山崎夏生氏より「一途一新の野球道(みち)」と題して御講演がありました。29年の審判生活で1451試合に出場、オールスターゲームへ3回出場という記録を残し、現在は引退後、日本野球規則委員会委員に就任しているとの事でした。野球には限りませんが審判員は常に神経を集中し判定し言い切る事の難しさと、それに対する重い責任を背負い仕事をしている事が聴講し伝わってきました。最後に副支部長小島氏の閉会の挨拶でセミナー終了となりました。

大東化学(株) 高橋記



## 平成28年度 神奈川労務安全衛生大会開催される

去る11月15日(火)「横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ」において、平成28年度神奈川労務安全衛生大会が鶴見・横浜北・横浜南・横須賀支部の協同運営で50周年記念大会として開催されました。

第一部の大会の「表彰式」では労務安全衛生功労賞で59名、支部別安全競争で4支部の表彰が執り行われました。平塚支部からは以下の4名の方が功労賞を受賞されました。

金 田 勢津子氏 日産車体(株)

鍋 島 和彦氏 横浜ゴム(株)平塚製造所

田 中 靖彦氏 日鍛バルブ(株)

五十嵐 富士夫氏 (株)コベルコマテリアル銅管秦野工場  
誠にありがとうございます。皆様の益々のご活躍を祈念申し上げます。また支部別安全競争では平塚支部が準優勝となり、さらに全国THP推進協議会表彰伝達として日産車体(株)様が優良賞を受賞されました。おめでとうございます。なお支部別安全競争50周年特別賞として藤沢支部の表彰が行われました。



また休憩後の第二部ではキャスター、(元)読売テレビ解説委員長の辛坊治郎氏の特別講演もあり、貴重で有意義な講演に対し盛大な拍手を持って、本記念大会の終了となりました。

(株)山川機械製作所 五嶋記



## 歳初めの小さな誓い

田中貴金属工業(株)平塚工場 健康管理室 看護師 中野 みどり

健康の大切さを実感され、新年の誓いをたてられた方も多いのではないでしょうか。

私も毎年、まずはダイエットを誓うのですが、美味しい物や美味しいお酒の誘惑に勝てず、なかなか実行を伴う事が出来ず、相談業務を業としておりますにお恥ずかしい限りです。(念のため、現在の所数字上はメタボではありません。)

その相談業務で感じるのは、最近は健康志向の高い方が多く、健康診断の面談で呼び出した時には、既に何らかの行動変容をしている方が多くなったことです。動機づけで多いのはメタボと呼ばれたくないからとのこと。特に、境

界域の方は通勤時歩くようにしたとか夜のお酒は止められないが炭水化物は食べないとか、間食を止めたなど。「3キロ位はそれ程無理をせず、ちょっとしたことで体重は減る。大切なのは継続です。」と力説される方もいらっしゃいました。(説得力あります。)私も、まずは動機づけを模索している今日この頃です。

思えば昨年も従業員の方々から教えられることの多い1年でした。それを忘れずに感謝の気持ちを持って過ごしたいと思っております。

引き続き産業保健活動委員会委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いたします。



## 雑感

### 『大山詣りについて』

(株)アマダホールディングス 総務部 河内 基之

ここ数年、50歳を超えたころから何もない平坦な道でつまづくなど運動機能の衰えを自覚するようになりました。気は若いままでも身体がついていかないようです。最近ではロコモティブ、健康年齢などの言葉とともに転倒事故が多いなどの声もよく聞くようになりました。5年ほど前から健康のため車通勤を止めて普段もなるべく階段を使うようにし、山登りなどもはじめました。

私は伊勢原市に25年ほど住んでいます。伊勢原市は神奈川県ほぼ中央部に位置しており近くには豊かな自然に恵まれた丹沢大山国定公園があります。

年々衰える体力の向上と維持のため、少し筋力が落ちたなど感じた時に、大山を登ります。その日の気分でごま参道、大山寺、阿夫利神社下社まで、あるいは見晴台から頂上までと気まぐれに登ります。一人で登ることも多いのですが、秋には毎年、家族で大山寺の紅葉を見に行きます。この紅葉は県内でも5本の指に入るほど美しいです。新

緑の季節も良いのですが、冬の頂上付近はスキー場と見間違うほどの雪景色を楽しむこともできます。

去年は、「大山詣り」が平成28年度の日本遺産に認定されました。長年住んでいるのに知らなかったのですが、江戸時代の江戸の人口が100万人のころに年間20万人の人が大山を訪れ、巨大な木太刀を江戸から担いで運び滝で身を清めてから奉納する庶民参拝の文化があったそうです。そうした姿は歌舞伎や浮世絵にも取り上げられたそうです。標高1200mの眼下に広がる景色とともに先人の思いなどの歴史を感じて歩くと晴れやかな気分になれます。

何か伊勢原の大山観光宣伝のような寄稿になってしまいましたが、昨年、大山ケーブルカーが50年ぶりに更新され参道の整備もあり小田急のロマンスカーも伊勢原駅に停車することにもなりましたので登ったことのない方にはお勧めしています。

## 全国 THP 推進協議会表彰受賞記事

従業員全員の心と身体健康保持増進は、生き活きと働く上で重要な基盤と考えております。会社の役割として一次予防である未然防止に軸足を置き、安全衛生計画に活動を織り込み推進しております。代表的な活動として「保健指導による生活習慣の改善」では、年に2回の保健指導サイクルの導入や、生活習慣病の予備軍者にも保健指導を拡大するなどの活動を進めてきました。また「ストレス過多にならない職場環境改善」では、社内カウンセラーがストレスチェックの組織分析やメンタル不調者の事例分析などから、職場環境や個人の耐ストレス性の改善活動などを推進してきました。これらの活動が実を結び、受賞につながったのかと思います。今後も、絶えずPDCAサイクルを回しながら活動を進化させていきたいと考えています。

日産車体(株) 岩満 記



## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

本年が皆様にとって良い年となりますようお祈り申し上げます。

さて、去年は「イギリスのEU離脱問題」、「アメリカの次期大統領選挙」など、世界の政治経済の大きな節目と思えるような出来事が発生し、日本も固唾をのんでその動向を注目した一年でした。国内では「東京オリンピック」で揺れ、熊本地震は想定外の震域での発生でありました。おそらく平塚地区の加盟会員会社も何等かの「ありがた

くない」影響を受けたところが多かったのではないかと推察します。「事実は小説より奇なり」ついでに言うならば、ノーベル文学賞は、垣根を越えてアメリカ音楽界の著名なレジェンドに贈られました。これに限らず、一般人、専門家別なくの予想・期待を超えた事象が頻発した年でもありました。

猿と犬には生まれた今年「酉」年。仲を取り持ち穏やかさを取り戻すのか、それとも唯々傍観し、夜明け前を待つのか。

しかしどんな状況にあっても、変わる事のない安全・安心な職場づくりに邁進していきましょう。

佐藤産業(株) 佐藤 記